

製品名: IKK アルファウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86988**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,FC 1:20-1:50,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:85 kDa; Observed MW:85 kDa

抗原情報

遺伝子名	IKK alpha
別名	IKK1; IKKA; IKBKA; TCF16; NFKBIKA; IKK-alpha
遺伝子 ID	1147
SwissProt ID	O15111
免疫原	ヒト IKK アルファの合成ペプチド

背景

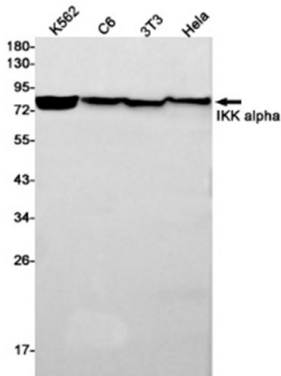
この遺伝子は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質

は、必須転写因子 NF- κ B 複合体の阻害因子であるサイトカイン活性化タンパク質複合体の構成要素であり、ユビキチン化経路を介して阻害因子の分解を誘導する部位をリン酸化することで、転写因子を活性化します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

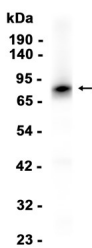
-

画像データ



IKK アルファ抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中の IKK アルファのウエスタン ブロット検出。

Mouse kidney



AMRe86988 を 1:1000 で使用してマウス腎臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。